

# あいち通信

第四十九号 平成二十五年九月  
日本会議 愛知県本部 事務局  
052-763-4678

## 報告・八月三日、日本会議名古屋東部支部発会式を開催

●日時 八月三日(土) ●会場 昭和生涯学習センター視聴覚室  
●プログラム【第一部】支部発会経過報告、役員発表、運動方針発表、激励の言葉など【第二部】日本会議愛知県本部・事務局長 服部守孝氏による記念講演「日本会議の歴史と使命について」 ●参加者 二十一名

日本会議愛知県本部の発足以来、愛知県内の各地に広がりました本会会員がより地域に根ざしたきめ細かい活動を行うっていくという目的の元、名古屋市内においては四、五件の支部に分業していくことを目指していくこととなりました。その先陣を飾る形で、この日、名古屋市昭和区、天白区、緑区の会員を対象に日本会議愛知県本部 名古屋東部支部の発会式が行われ、当該地区八名のほか、他地区からのご参加も得、二十一名が結集できました。



【第一部】国歌斉唱、日本会議綱領唱和に引き続き、江崎支部長より当支部発会経過報告、

松研、事務局長・加藤貴之、幹事・大野幸春、向・松本隆義)の発表を行いました。さらに引き続き、運動方針として愛知県本部、名古屋部として現在企画実施してきている講演会、

知県護国神社清掃奉仕、尖閣諸島をはじめ我領土領海を守るための請願等の署名街宣活動の参画に加え、名古屋東部支部独自に、月八日の定例会(詳細、検討中・第一回は、八月八日午前を予定)を行う事を発表しました。

の定例会では半日を勉強会・意見交換等を実施して支部会員の真正を行い直接行く方々呼びかける事で我が国の真正保守活動展開の事を計っていくとの説明。私達は単なる思想ではなく、行動家でもなければならぬという目標の元、質実ともに充実した活動を目指し精進していく事が確認されました。最後に愛



日本会議名古屋東部支部発会式

知県本部理事・名古屋支部長の江副嘉彦氏より参院選の支援活動と大勝利のお礼とともに、勝利を喜んでばかりではいられず、

「チーム安倍」の真正保守勢力の結束をより強め、我々一人ひとりも、その活動を強く後押ししていくべきであると訴えられるとともに、名古屋支部の分業の先陣を切った当支部の活動展開開始に対する力強い激励の言葉を頂きました。

【第二部】愛知県本部 事務局長 服部守孝氏より「日本会議歴史と使命」と題して記念講演を頂きました。日本会議の歴史を振り返る事で憲法改正という非常に大きな壁に対して国民運動として一つ、ひとつの法律をしっかりと仕上げていく事、地方議会へ意見書の提出など、できる事から一つ、ひとつ積み上げてきた実績を改めて知る事ができました。また、講演内で「終戦の大詔」を拝聴し、これからも「御皇室をお守りしていく」という使命を確認できました。最後に参加者全員での自己紹介、当日参加しての感想、日頃の思いなどの発言がなされました。(文責・日本会議 愛知県本部 名古屋東部支部 事務局長 加藤貴之氏)

## 案内・新教育者連盟愛知支部

平成二十五年四月一日、公益認可を受け、単なる財団法人から公益財団法人として、より社会的に影響力を増した友好団体「公益財団法人・新教育者連盟」愛知支部のセミナーを紹介します。一度是非、参加してみてください。

【九月度】「生命の教育」セミナー

●開催日時 九月二十三日(月・祝) ●会場 名古屋国際センター五階(第二会議室) (TEL) 052158115679 地下鉄桜通線国際センター下車すぐ上

●講師・新教育者連盟特任講師 代田健蔵氏

◎(第一部) 十三時十五分～十四時四十五分 演題・家庭を明るくする魔法のコトバ!

◎(第二部) 十五時～十六時三十分 演題・古事記に親しむ、学ぶ

●会費 第一部 演題・古事記に親しむ、学ぶ (片方の部だけの受講も可(500円)) ●問い合わせ先 古市 (TEL) 052153210902

## 案内・日本会議愛知県本部ホームページ

今般、充実化を図り、過去の活動が一覧できるようにしました。まだ一部作業中ですが、既発行の「なごや通信」「あいち通信」がすべて閲覧できます。愛知県本部のイベントも逐次掲載しております。一度、左記URLを入力されるなり、「日本会議愛知県本部」検索)で、開いてみてください。  
<http://www5c.biglobe.ne.jp/~n-aichi/>

## ●愛知県護国神社清掃奉仕予定

次回は九月一日午前八時開始、九時終了。九月から八時～九時に戻ります。引き続き十月六日、十一月三日を予定しております。軍手を必ずご持参下さい。また、小雨なら社屋の木枠拭き掃除しますので雑巾をご持参下さい。

大雨は中止になりますが、疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛お電話下さい。(090・6466・1592)

## ●「日本の息吹」を引き続き購読下さいますようお願いいたします。